



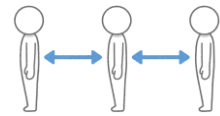
点呼時の感染対策

【点呼場所で3密をつくらない】

- ・点呼する部屋の換気を徹底する
(1時間に2回程度)

- ・運行管理者はマスクを着用し、点呼前後に手洗いを実施する
- ・運転者はマスクを着用し、始業点呼時に手洗いを実施する

- ・点呼待ちの際、2m以上の間隔をあける



- ・点呼を行う際適切な距離を保つ



【健康状態の確認】

- ・健康状態を報告する時は、体温測定の結果・症状の有無を必ず伝える
- ・発熱やせき等の症状がある場合、自宅待機する

【アルコール検知器の対応方法】

- ・アルコール検知器はこまめに除菌し感染防止を徹底する
- ・アルコールチェッカーの近くにアルコール製剤を置かない
(アルコールにアルコールチェッカーが反応してしまうため)

注意

※使用されている検知器メーカーにお問い合わせの上管理者の責任のもと使用する。

※次亜塩素酸ナトリウムを使用後は清拭箇所の変色や金属が錆びる等あるため、清拭後水雑巾でもう一度ふき取る。
アルコール消毒を使用後は乾かす。

●詳細は東海電子株式会社「東海電子製 アルコール検知器 除菌・消毒ガイド Ver1.0」を参照ください。

アルコール検知器使用手順





運行中の3密対策と体調報告

1 ■ 相手先到着時はマスクや手袋を着用する

■ 2名以上で同乗する場合

- ・マスクを着用
- ・定期的な換気
- ・必要最低限の会話



注意 マスク着用による熱中症対策

- ・こまめな水分補給
- ・人との距離を2m以上確保できる場合はマスクを外す

2 ■ 荷物の受け渡しや荷物の積卸の際は、事前に相手先と連絡を取り、直接接触を減らすよう努める（置き配）

■ 基本は1人で作業を行う
 複数名で行う場合：持ち場を担当する
 お互い距離を取る



■ 食事は車内で実施することを心がける



3 ■ 荷積み前や積卸し後は車内の消毒に努める

■ 共用のカートなど荷役機器を使った後は、手洗いまたはアルコール消毒を行う



作業後



【体調報告】

■ 定時連絡における健康状態を報告する

乗 務 員：乗務中には発熱や体調不調を認めた時は、
 運行管理者に連絡し、指示をもらう

運 行 管 理 者：連絡がきたら乗務中止指示を出す



■ 新型コロナウイルス相談窓口などの連絡先が書かれたカードを車内に携行する